

政策 06 活力あふれるまちづくり

施策 01 商業の振興

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
地域商業が発展し、活性化しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市内商店の年間商品販売額（億円） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	基準値
		999	1,484	1,484	-	☀️ (向上)
評価	平成28年経済センサスが最新の情報となることから、前年度と同じ実績値とする。卸売業の従業員数と商品販売額が大きく伸びており、これは大手企業による産業機械関係のBtoB（企業間取引）が進捗したものと分析している。					☀️ (向上)
		<p>(億円)</p>				☁️ (横ばい)
						目標達成度 (---)

指標	市内商業が活性化していると思う市民の割合（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	基準値
		20.1	32.1	26.6	30	☀️ (向上)
評価	前年よりも数値が低下している。近年、市外において続々と巨大ショッピングモールが立地するなどの影響があるためか、市外と比較すると見劣りするかもしれないが、元々市内にはスーパー、ドラッグストア、コンビニなどが点在し、日常的に必要なものは手に入りやすい住環境が整っているため、引き続き地域特性を踏まえた商業振興施策を検討していく必要がある。					☀️ (向上)
		<p>(％)</p>				☔️ (低下)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域商業の活性化

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市内商店数（店） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		414	424	424	420	☀️ (向上)
評価	平成28年経済センサスが最新の情報となることから、前年と同じ実績値とする。目標値は達成できているため、関係機関と連携した創業支援事業と併せ、市内商店の持続的発展につながる取り組みを検討する。					☀️ (向上)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

基本事業01 地域商業の活性化

指標	日常生活に必要な商品（食料品、日用品、電化製品、飲食店）を市内で買う市民の割合（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		33.5	26.7	23.4	35	☔️ (低下)
評価	前回から3.3ポイント減少し、日常的に消費するものを市内のお店で調達する割合が減ってきている。近年、市外に大型商業施設が立地され、年々市内のお店での調達が減ってきている。					☔️ (低下)
						🏰 (達成)
						(---)

基本事業02 事業者への支援

指標	各種制度活用による経営力向上に取り組んだ商店数（件） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		154	119	107	200	☔️ (低下)
評価	前年度よりも若干件数が減少したが、信用保証料の助成額については前年度よりも増加している。設備投資よりも運転資金に対する利用が約8割を占めている。					☔️ (低下)
						🏰 (達成)
						(---)